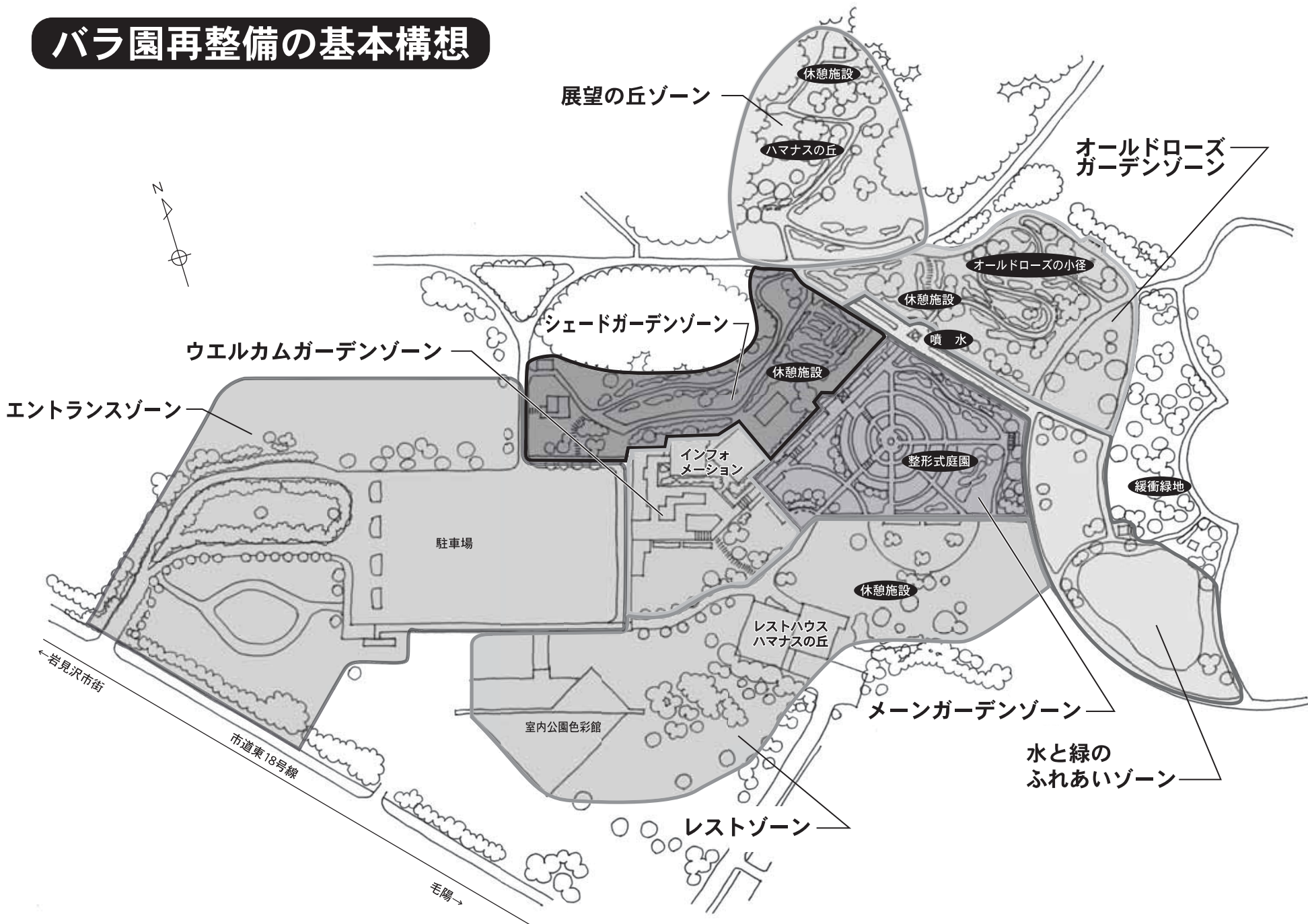


# 誇り高き北国のバラ園を目指して

## バラ園再整備の基本構想



基本理念を、誇り高き北国のバラ園を目指して」と決めました。

基本理念の実現に向けて

バラ園の魅力をかめる4つのプログラムを行うことにしました。

▼風土に合った品種の選定とバラ園の管理運営に専門職員を配置するなど、態勢を強化する。

▼園路のバリアフリー化を推進するとともに、景色を楽しむことのできる休憩施設に改修し、来場者に居心地の良い場所とする。

▼市民がバラの生育に参加し、楽しみながら技術を習得する機会や、

イベントを通して多くの方が交流する機会を積極的に設ける。

▼バラを多くの市民に知ってもらうため、開花情報の提供や特産品の開発などに取り組む。

### 再整備の基本構想

市民が誇りを持って楽しむことができるように、バラ園を8つのゾーン(区域)に分けて整備します。

【エントランスゾーン】

来園者が印象に残るように、長期間楽しめるバラで修景するとともに、芝生地を設け、イベントができ

る場所とする。

【ウェルカムガーデンゾーン】  
バラ園の入り口に案内板を設置するほか、バラの情報を提供する場所とする。

【メインガーデンゾーン】

整形式庭園に、四季咲きのモダンローズを中心に配植し、より魅力を高める。

【オールドローズガーデンゾーン】

寒さに強いオールドローズを中心に配植し、くつろげる場所とする。

【展望の丘ゾーン】

斜面に道内市町村から譲り受けたハマナスを充実させる。また、バラ

いわみざわ公園バラ園は、市民の生活に安らぎと潤いをもたらすだけでなく、市内、市外を問わず、多くの観光客が訪れることから、市の観光名所として重要な場所です。

しかし、開園から約20年が過ぎ、バラの生育が低下したり、施設の老朽化が進んだりしています。

そこで、昨年11月からバラの生育に関する専門家や、観光に係る団体の代表者で構成する、バラ園の魅力をかめる検討会議で、バラの生育の改善策、市民参加の方法、観光振興との関わりなど、今後のバラ園のあり方を検討し、本年3月に市長へ答申を行いました。

市は、基本理念などについての答申を受け、バラ園再整備の基本構想を策定しました。

### 基本理念

北海道の風土に合ったバラを育て、いつまでも香り豊かで、市民の皆さんが誇れるバラ園とするため、

園全体を眺望できるベンチなどの休憩施設を整備する。

【水と緑のふれあいゾーン】  
来園者がくつろげる水辺や休憩施設を整備する。

【シェードガーデンゾーン】  
宿根草を中心とした自然や風景をいかした庭園などを整備する。

【レストゾーン】  
室内公園色彩館とレストハウスとの間に、防風植栽を施し、長期間くつろげる場所とする。

市は、バラ園再整備の基本構想をもとに整備計画を策定し、今年度からバラ園の苗の植栽や更新、施設改修などを行う予定です。また、バラ園の再整備に当たっては、バラの生育に関する専門家やバラ園の管理者のほか、市の花であるバラに、多くの市民が愛着を持っていただけるように、計画の段階から市民の皆さんに参加をいただきたいと考えています。

なお、苗の更新や施設改修などを行っている期間中、来場者の方にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

問合せ 市公園緑地環境課